

第2回 CCS 事業に関する連絡会議 議事要旨

○日時

令和8年8月6日（木） 10時00分～12時00分

○場所

千葉県庁 中庁舎10階大会議室

（WEB会議を併用）

○構成員等

「構成員等名簿」のとおり

※株式会社三井住友銀行 欠席

○議題

（1）「CO₂貯留の仕組みと地層評価」について

- 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）より、資料1「CO₂貯留の仕組みと地層評価」を説明。

（2）「苫小牧CCS大規模実証試験」について

- 日本CCS調査株式会社（JCCS）より、資料2「苫小牧CCS大規模実証試験」を説明。

（3）「首都圏CCS事業の現況説明」について

- 首都圏CCS株式会社より、資料3「首都圏CCS事業の現況」を説明。

【(3)「首都圏CCS事業の現況説明」について質疑応答】

〔袖ヶ浦市〕

資料7ページのスケジュールについてお聞きしたい。

本資料では、試掘後の評価・設計から事業者による最終投資決定までに約1年から2年を要するスケジュールが示されている。

一方で、これまでの説明では、当初、今年度末頃に事業化に関する一定の決定が行われる見込みとのご説明があったと認識している。そのため、今回お示しいただいたスケジュールを見ると、当初想定から後ろ倒しになっているように受け止められるが、事業全体の進捗やスケジュール感についてどのようにお考えか。

また、このようなスケジュールに関する情報について、現時点では地域住民や関係者に対して積極的に公表する段階ではないとお考えか。首都圏CCS株式会社のホームページを拝見しても、現時点で関連情報が掲載されていない状況である。

自治体としては、地域からの問い合わせ等への対応に苦慮しているところでもあり、今後、どのようなタイミングで、どの程度の情報が公表される予定なのか、お聞かせいただきたい。

〔首都圏CCS株式会社〕

今後のスケジュールに関する情報共有の時期や方法についてのご質問と理解している。

まず、これまで皆様にご説明していた当初のスケジュールでは、今年度末を一つの目標時期としてお示ししてきた一方で、試掘の実施に向けては様々な状況があり、本年7月に試掘を開始した。

当初皆様にご説明した時点からは一定の遅れが生じている。その背景には、試掘に関する検討や試掘権の付与等について、慎重かつ丁寧に計画を進めてきた結果であるため、ご理解いただければ幸い。

現在の見通しとしては、試掘完了後の評価・検証に、概ね1年から2年程度を要する見込みであることから、当初お示ししていた今年度末のスケジュールからは後ろ倒しになるものと考えている。

今後は、投資決定に向けた検討も含め、これまで以上に情報発信に努めてまいりたいと考えている。

ただし、試掘の結果がまだ出ていない現時点では、その後の検討状況によって再度変更が必要となる可能性もあるため、慎重に公表のタイミングを見極めているところである。

具体的な公表時期について現段階で明言することは難しいものの、近いうちに、事業全体のスケジュールや試掘後の流れ、さらに目標としている 2030 年代初頭の事業開始を見据えたロードマップについて、整理した形でお示ししたいと考えている。

なお、資料に記載している「試掘後 1 年から 2 年」という期間についても、可能な限り見通しを具体化したいと考えているが、現時点では試掘結果が得られていないため、幅を持った表現とせざるを得ない状況である。今後、試掘の進展に伴い、より具体的な見通しをお示しできるよう努めていく。

また、行政の皆様に対しては、地域への説明や情報共有に支障が生じないよう、適切なタイミングで情報提供を行っていく。引き続きご理解とご協力を賜りたい。